

# 平成28年度 地方創生関連交付金事業の概要



# 地方創生関連交付金事業とは

## 【概要】

- 自治体の自主的・主体的な取組みで、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを取り込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組みを支援



# 平成28年度に実施した事業

---

## ① I o T 拠点形成事業

(地方創生加速化交付金)

## ② インバウンド観光客受入環境向上事業

(地方創生加速化交付金)

## ③ アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

(地方創生推進交付金)

# ①IoT拠点形成事業

## 1 目的

福岡市の強みである情報関連産業の集積を活かし、地場企業が取り組むIoT関連分野での製品開発や事業者・大学等のネットワーク化を支援し、産学官金が一体となりIoT産業の拠点形成を目指す。

## 総合戦略における位置づけ

<基本目標 I >  
しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる  
(イ) 地域産業を支えている産業の競争力強化

## 2 進捗状況 ※KPIの達成状況

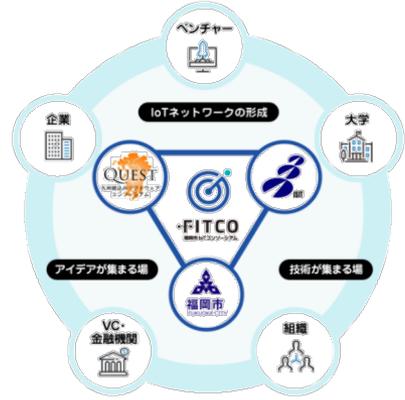
a

(達成率:100%以上)

指標内容	H28目標	H28実績	達成率
新製品・サービスの件数	4	6	150%
IoTネットワーク参画企業・大学・団体等数	30	160	533%

## 3 実施内容【地方創生加速化交付金】

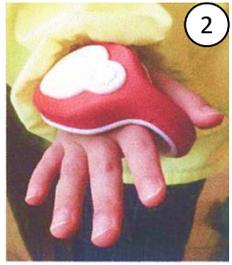
■福岡市IoTコンソーシアムを設立  
IoT関連の最新技術情報や事例紹介等の情報提供や事業者間のマッチング支援等を実施。



■特区における特定実験試験局制度等を活用し  
試作開発等の支援（補助金）

### 【製品開発例】

- ①災害対策のためのドローンシステム
- ②色センサーを活用した手袋型スマート玩具



■地域企業の実態ニーズ調査

IoT サプライヤーの実態や動向、試作開発段階の受け皿となり得る設計・製造・加工等の基盤技術を有する企業データの収集などを行い、将来に亘り活用可能なバックデータの収集及び市内企業等が利用可能なデータ整備を実施。

※結果をWEB上で公開



# ②インバウンド観光客受入環境向上事業

## 1 目的

外国人観光客が急増し、大型MICEの開催が今後、予定されている中、マナーや宿泊施設不足などの課題に対応するとともに、市全体でインバウンド需要を取り込むための環境整備に取り組む。

## 総合戦略における位置づけ

<基本目標 I >

しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる

(エ) 観光・MICE 振興による交流促進

## 2 進捗状況 ※KPIの達成状況

**a**

(達成率: 100%以上)

指標内容	H28目標	H28実績	達成率
外国人入国者数	-	257万人	-
農漁業体験プログラム数	2	2	100%
ものづくり体験実施件数	8	9	113%

## 3 実施内容【地方創生加速化交付金】

- 歴史・文化・自然など地域の観光資源を活用した体験プログラムなどの開発
  - ・ものづくり体験マニュアル(7種)や体験マップの作成(5言語)及び博多織、博多人形などのものづくり体験事業(①)の実施(延べ9件)
  - ・ミュージアム施設の共通割引券を作成し、期間を限定した導入実験を実施
  - ・自然資源などを生かした旅行商品の造成促進とトップランナー事業者育成(30件開発)(②)
- はかた伝統工芸館、アジア美術館、博物館での展示作品等解説の多言語化及び音声ガイドの作成(③)
- 飲食店の多言語対応推進のためのセミナーの開催(32事業者参加)
- 観光案内所の開所時間の延長(毎日8.5時間→毎日9.5時間)(④)
- マナー・日本文化の理解促進のためのマナー映像の制作
- 宿泊施設不足に関する調査・検討 など



# ③アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

事業費:104,390千円

## 1 目的

健康寿命の延伸を図るとともに、保健福祉医療分野の新たなサービスを創出する仕組みを構築し、超高齢社会に対応した活力ある都市づくりを進める。

## 総合戦略における位置づけ

＜基本目標Ⅲ＞  
超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる  
(ア) 生涯元気に活躍できる社会づくり

## 2 進捗状況 ※KPIの達成状況

b

(達成率: 75%以上100%未満)

指標内容	H28目標	H28実績	達成率
活動シニア数 (人)	30	34	113%
行動変容した市民数 (人)	4,000	3,957	99%

## 3 実施内容 【地方創生推進交付金】

### ■健康先進都市づくりに関する構想策定

- ・超高齢社会において、一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける持続可能な社会システムづくりを目指し、平成29年3月に「福岡市健康先進都市戦略」を策定
- ・リーディング事業として、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」実証実験を実施

### ■超高齢社会対応検討(アラカンフェスタ)

- ・60歳前後を中心とした幅広い世代が、必要な情報や人に出会える、セカンドライフを考えるきっかけづくりとして実施



### ■地域との協働による移動支援モデル事業

- ・平成29年2月から、東区香住丘校区において、福岡市から車両を貸出し、地域ボランティアが運転や付添を行い高齢者の買い物支援を行うモデル事業を開始



### ■ICT活用による要介護高齢者在宅生活支援モデル事業

- 高齢者の健康づくり・介護予防に関する実態調査と効果測定のための調査
- 健康・社会参加インセンティブ制度調査・検討
- アクティブ・シニアの創業・就業支援